

授業科目 法学Ⅱ

【担当教員名】 梶原洋生	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】  
 本講義では、法の基礎概念を習得し、法体系を学びながら、その運用の実際を知る。福祉と法の架橋に配慮し、そこに見られる法の世界的特徴を追究しつつ、今日の社会における法の作用と機能を身近に把握していく。これらを通じて、法の理解を深めるとともに実体的な考察の窓口を作る。特に共感の人権論を模索し、医療福祉において専門職が実践するリーガル・アプローチの可能性を具体的に検討する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

1. 法システムを理解する。
2. 行政法を理解する。
3. 福祉法を理解する。
4. ケース・スタディを進める。
5. 法的な思考から理論構成を行なう。
6. それらを通じて、福祉職に必要な事柄（例えば権利擁護や成年後見などの考え方）を理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	「法学Ⅱ」への取り組み（受講上の留意点）		講義
2	法、法律、法規について		講義
3	福祉と法の出会		講義
4	行政法の全体像と作用		講義
5	行政法の運用		講義
6	行政サービスと福祉マネジメント		講義
7	臨床と法的救済（1）		講義
8	臨床と法的救済（2）		講義
9	臨床と法的救済（3）		講義
10	パラリーガルとしての福祉職		講義
11	福祉職の義務、責務、ディレンマ		講義
12	福祉職の事故、過誤、違反		講義
13	ケアの充実と医療福祉連携の法		講義
14	これからの法学（まとめ）		講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	『社会福祉士養成講座12・法学』、福祉士養成講座編集委員会、中央法規、最新刊			
	『社会福祉小六法』、ミネルヴァ書房編集部、ミネルヴァ書房、最新刊			
参考書	『介護の法律入門』、梶原洋生、インデックス出版、2006 その他、適宜紹介する。			
その他の資料	『新版 医療と福祉の法律学』、梶原洋生、インデックス出版、2002 その他、適宜紹介する。			

【評価方法】 出席点、平常点、試験点による。	【履修上の留意点】
---------------------------	-----------